

成田市学校教育振興基本計画策定委員会 会議概要

1 開催日時

平成27年11月5日(木) 午前10時00分～午前11時43分

2 開催場所

成田市花崎町760番地
成田市役所6階 中会議室

3 出席者

(委員)

明石要一委員長、野村豊副委員長、太田洋委員、櫻崎弘美委員、渡邊直行委員、
渡邊邦明委員、渡邊昌美委員及び寺内章喜委員

(成田市)

教育委員会 関川教育長

教育総務部 伊藤部長、篠塚学校施設課長、江邨学務課長、大竹教育指導課長、
後藤学校給食センター所長

生涯学習部 秋山生涯学習課長、大矢生涯スポーツ課長

企画政策部 高橋企画政策課長

健康こども部 宮崎子育て支援課長、伊藤保育課長

事務局 (教育総務課)

鬼澤課長、鈴木課長補佐、窪田係長、弘海主査

4 議題

- (1) 成田市学校教育振興基本計画 (素案) について
- (2) その他

5 議事(要旨)

関川教育長あいさつの後、議題(1)の成田市学校教育振興基本計画(素案)について、事務局から配付資料に基づき説明があり、各委員から意見を伺った。

その後、議題(2)「その他」として、「成田市学校教育フォーラム」や「今後のスケジュール」について、事務局から配布資料に基づき説明があった。

また、各議題における主な意見は、次のとおりであった。

成田市学校教育振興基本計画(素案)について

- ・ 基本目標2の「伝統・文化の理解」と「国際性を育む」については、それぞれ

れを個別に充実させるのではなく、成田の伝統や良さを外国の方に英語で説明できるようにするなど、2つをセットにして学校教育の中に組み込んでいくことも必要なのではないか。

- ・ 大栄地区には市立幼稚園があるので、小中一貫教育をさらに発展させた幼小中の連携を進めても良いのではないか。
- ・ 幼児期も含め、子どもたちが外遊びをしなくなったことで、体幹が弱くなっている。
- ・ 昔と違って子どもたちは、普段からスマートフォンなどのICT機器に触れているので、タブレット端末を導入してもらえれば、効果が出ると思う。是非、導入してもらいたい。
- ・ 太陽光発電は市内全小中学校に導入する必要があるのか。
- ・ 統合等による今後の学校数の推移を提示しないと、目標値が適当なのか判断ができない。分母で全学校数を表示するなど、分かりやすくするための工夫が必要である。
- ・ 新卒で学校に配置された先生をサポートする体制が必要ではないか。
- ・ 中間年度で、ある程度目標を達成する見込みであれば、最終年度はもう少し上の目標を設定しても良いのではないか。
- ・ 計画期間が長いので、中間年度までの5年より短いスパンで、進捗をチェックする仕組みが必要ではないか。
- ・ 教員の多忙や負担を軽減する取組を、基本目標4の中で掲げたことは大変良いことである。
- ・ 英語教育については、小中連携における中学校での受けが大事である。小中の段差を少なくし、小学校で学んだ内容も生かしながら発展させていくことが必要である。
- ・ ALTを配置する市町村はたくさんあるが、成田のようにALTの研修をしっかり行い、ALTの指導員が実際の授業を見に行き指導しているところは日本全国を見ても少ないと思う。そのような成田の良さをもっと出していきたい。
- ・ 学習指導の充実では、基礎基本の定着に向けた一方通行の講義だけではなく、子どもたちに考えさせて、表現させることも必要である。また、学力状況調査においては、単純に平均点を見るのではなく、基礎学力の定着度とともに、それを活用する能力（思考力・判断力・表現力）を見て、指導に生かしていきたい。
- ・ PTAの学校支援の在り方だが、PTAの方でも、どう支援をして良いか悩んでいる部分がある。学校側から上手に刺激をしてあげると、もっと良い関係を築けるのではないか。
- ・ 今の子どもたちは、小さい頃から野球やサッカーなど一つのスポーツに特化

しすぎているため、それ以外の体の動きが非常に弱くなっている。そのため、総合型地域スポーツクラブなどで、気軽に様々な競技ができる体制をつくる事は大切なことである。

- ・ もう少し、「成田らしさ」や「成田のこだわり」を出せたら良いのではないか。

その他（成田市学校教育フォーラム、今後のスケジュール）

特になし。

6 傍聴

2人